

**CO2 排出年間 4,375 t 削減 | 達成率 87.5%****『CO2 5000t 削減プロジェクト』 成果報告****－2022 年度における企業参画型プロジェクトの結果と検証**

事業者向けに廃棄物管理・環境コンサルティングを展開する株式会社サティスファクトリー（本社：東京都中央区、代表取締役：小松武司）は、廃プラスチックの国内循環を企業と協創する『CO2 5000t 削減プロジェクト』において、2022 年度に年間 4,375 t の CO2 排出を削減したことをご報告します。本値は年間目標に対して達成率 87.5%であり、今後は結果の検証により対象品目や資源循環の仕組みを広げ、2023 年度に 100%達成を実現します。またこの実行にあたっては、定量的に CO2 排出を削減したい企業様を募集し、インフラプロバイダーとして脱炭素社会に貢献してまいります。

**■ 今日から始められる企業参加型プロジェクト**

2020 年に開始した『CO2 5000t 削減プロジェクト』は、事業活動で排出される CO2 に着目し、参加企業の皆さまと共に CO2 排出削減に取り組むプロジェクトです。すぐに始められる 2 つの具体的なアクションを提供し、石油資源の利用抑制と焼却処分の回避に伴う CO2 排出削減を目指します。

**アクション① サステナブルごみ袋『FUROSHIKI』を使用する**

普段利用しているごみ袋に代わり、廃プラスチック由来の再生材を 99%使用したサステナブルごみ袋『FUROSHIKI』をご使用ください。これにより、化石燃料由来のバージン原料の使用を抑制し、その環境負荷の低減分を CO2 排出量として算出します。（『FUROSHIKI』については[こちら](#)）

**アクション② 原料となる「廃プラ」を提供する**

『FUROSHIKI』の原料になる廃プラスチック（主にストレッチフィルムなどのポリエチレン）をご提供ください。廃プラスチックは再生樹脂に原料化されます。これにより、焼却や埋め立てなどの処分が回避でき、その環境負荷の低減分 CO2 排出量として算出します。（ストレッチフィルムの回収については[こちら](#)）



# NEWS RELEASE

## ■ 2022 年度の成果

2022年4月1日～2023年3月31日に、約11,000の事業所が参画して『FUROSHIKI』の使用と原材料の提供に取り組み、**合計 4,375t の CO2 排出を削減**しました。これは、本プロジェクトで目指す年間5,000t削減に対して、**87.5%の達成率**です。目標には一歩及びみませんでした。2020年のプロジェクト始動以来、年間で最高値を記録しました。

## ■ CO2 排出削減量の推移

事業を開始した2020年5月から、**累計 11,132t の CO2 排出削減**となりました。これは杉の木126.5万本が1年間に吸収する量に相当します。

(参考：【林野庁「森林はどのぐらいの量の二酸化炭素を吸収しているの？」】)

アクション	2020年度	2021年度	2022年度	累計
「FUROSHIKI」の使用	292t (7月開始)	1,149t	2,110t	3,551t
原材料の提供	3,050t (5月開始)	2,265t	2,265t	7,581t
合計	3,342t	3,414t	4,375t	11,132t

## ■ 2022 年度の企業の取り組み傾向

FUROSHIKI を採用する事業所は、これまで **〈 10,206 事業所 〉** に達しました。中でも採用が増えたのは、不動産・ビル管理・空港など**インフラを提供している企業様**です。これらにおいては、自社のみでの取り組みではなく、**顧客や取引先企業まで輪を広げた環境貢献の機会提供**として展開する傾向が見られます。たとえば、新型コロナウイルスの感染拡大の落ち着きから、オフラインのイベント開催や企業訪問の機会が増え、それらの現場での使用やノベルティとしての配布など活用方法の幅が広がっています。だれもが使うごみ袋だからこそ、自社の取り組みを発信するだけでなく、そのアクションを共に起こすムーブメントが促進されていることが考察されます。

また、FUROSHIKI の原料提供元である事業所は **〈 200 事業所 〉** を超えました。企業の環境対策や廃プラスチック問題への関心は年々高まり、さらにステークホルダーからの要望が増加しています。そのため、**プラスチックを扱う企業は処理方法を見直すようになり**、自社の廃棄物を減らすことで環境負荷を下げたいと考える企業が増えていると窺えます。

# NEWS RELEASE

## ■ 今後の展望

近年、企業への CO2 排出のプレッシャーは高まっています。世界的な脱炭素への潮流に加えて、昨年 2022 年 4 月には「プラスチック資源循環促進法」が施行されました。事業者にはプラスチックの廃棄を抑制する「再資源化事業計画」の策定が求められますが、まだ具体的な施策を打てていない状況が多く見受けられます。**捨てない選択肢を持ち、具体的な廃プラスチック削減に取り組むこと**が一層求められるのです。

当社では、本プロジェクトを通して「ごみ」を「資源」として有効利用できる方法を提案してまいります。今後は、**対象となる品目や資源循環の仕組みを増やし**、より多くの事業者様と共に CO2 排出削減を実現してまいります。（参加申込は[こちら](#)）

## ■ プロジェクト概要



名 称： CO2 5000t 削減プロジェクト  
内 容： CO2 排出削減の協創  
目 標： 年間 5,000t の CO2 排出削減  
対 象： 国内の企業および自治体  
条 件： 下記アクションのいずれか、または両方の実施  
01 ごみ袋「FUROSHIKI」を使用する  
02 原料となる「廃プラ」を提供する  
参 加 申 込： <https://www.sfinter.com/co2-5000t/>  
主 催： 株式会社サティスファクトリー

## ■ 社会を 100 年先に繋ぐ、環境問題解決企業

会 社 名： 株式会社サティスファクトリー  
所 在 地： 東京都中央区八丁堀三丁目 12 番 8 号 HF 八丁堀ビルディング 8F  
代 表 者： 代表取締役 小松 武司  
設 立： 1996 年 11 月  
事 業 内 容： 廃棄物マネジメント事業、環境コンサルティング事業、環境教育事業、  
再生可能エネルギー事業、海外事業、再資源化プロダクト事業  
資 本 金： 1 億円  
Web サイト： <https://www.sfinter.com/>

# NEWS RELEASE

## ■ お問い合わせ先

広 報 担 当： 梶田（かばた）・北澤（きたざわ）

E - m a i l： [consulting@sfinter.com](mailto:consulting@sfinter.com)

以上